



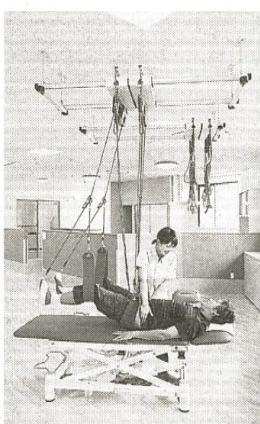
新築移転した戸田中央リハビリテーション病院



佐藤院長



ペランダシミュレーション



レッドコード

地上6階、従来比2・4倍の809延床面積を擁する新病院には、開院以来蓄積された経験や現場のアイデアを取り入れ、「入院生活のすべてをリハビリーションとする」ためのさまざまな工夫を凝らしている。

戸田中央リハビリテーション病院（佐藤信也院長、埼玉県戸田市）が11月1日から診療を開始する。同院は2002年にTMG初のリハビリテーション専門病院として、グループの基幹病院である戸田中央総合病院の隣地に開院して以来、地域の回復期医療を担ってきた。その一方で近年の回復期医療ニーズの増加に伴い、慢性的な入院待機患者の増加が大きな課題となっていたため、今回の新築移転を機に病床数を122床から200床へと増床。「入院生活のすべてをリハビリテーションとする」をモットーに病院機能の強化を図り、県南部地域の地域包括ケアの拠点としての役割を担っていく。

戸田中央リハビリテーション病院

11月1日 オープン 入院生活すべてをリハビリ

戸田中央リハビリテーション病院（Hidaka Central Rehabilitation Hospital）は、戸田中央リハビリテーション専門病院として、グループの基幹病院である戸田中央総合病院の隣地に開院して以来、地域の回復期医療を担ってきた。その一方で近年の回復期医療ニーズの増加に伴い、慢性的な入院待機患者の増加が大きな課題となっていたため、今回の新築移転を機に病床数を122床から200床へと増床。「入院生活のすべてをリハビリテーションとする」をモットーに病院機能の強化を図り、県南部地域の地域包括ケアの拠点としての役割を担っていく。

戸田中央リハビリテーション病院（佐藤信也院長、埼玉県戸田市）が11月1日から診療を開始する。同院は2002年にTMG初のリハビリテーション専門病院として、グループの基幹病院である戸田中央総合病院の隣地に開院して以来、地域の回復期医療を担ってきた。その一方で近年の回復期医療ニーズの増加に伴い、慢性的な入院待機患者の増加が大きな課題となっていたため、今回の新築移転を機に病床数を122床から200床へと増床。「入院生活のすべてをリハビリテーションとする」をモットーに病院機能の強化を図り、県南部地域の地域包括ケアの拠点としての役割を担っていく。

戸田中央リハビリテーション病院（佐藤信也院長、埼玉県戸田市）が11月1日から診療を開始する。同院は2002年にTMG初のリハビリテーション専門病院として、グループの基幹病院である戸田中央総合病院の隣地に開院して以来、地域の回復期医療を担ってきた。その一方で近年の回復期医療ニーズの増加に伴い、慢性的な入院待機患者の増加が大きな課題となっていたため、今回の新築移転を機に病床数を122床から200床へと増床。「入院生活のすべてをリハビリテーションとする」をモットーに病院機能の強化を図り、県南部地域の地域包括ケアの拠点としての役割を担っていく。

戸田中央リハビリテーション病院（佐藤信也院長、埼玉県戸田市）が11月1日から診療を開始する。同院は2002年にTMG初のリハビリテーション専門病院として、グループの基幹病院である戸田中央総合病院の隣地に開院して以来、地域の回復期医療を担ってきた。その一方で近年の回復期医療ニーズの増加に伴い、慢性的な入院待機患者の増加が大きな課題となっていたため、今回の新築移転を機に病床数を122床から200床へと増床。「入院生活のすべてをリハビリテーションとする」をモットーに病院機能の強化を図り、県南部地域の地域包括ケアの拠点としての役割を担っていく。

戸田中央リハビリテーション病院（佐藤信也院長、埼玉県戸田市）が11月1日から診療を開始する。同院は2002年にTMG初のリハビリテーション専門病院として、グループの基幹病院である戸田中央総合病院の隣地に開院して以来、地域の回復期医療を担ってきた。その一方で近年の回復期医療ニーズの増加に伴い、慢性的な入院待機患者の増加が大きな課題となっていたため、今回の新築移転を機に病床数を122床から200床へと増床。「入院生活のすべてをリハビリテーションとする」をモットーに病院機能の強化を図り、県南部地域の地域包括ケアの拠点としての役割を担っていく。

今週の紙面

中医協、働き方対応めぐり白熱①

山口・都保健医療公社理事長に聞く①

介護報酬改定調査票など承認①

介護保険部会で受給者範囲等議論②

入院分科会、次回とりまとめ②

次期改定へ中医協専門部会で議論②

戸田中央リハビリ病院が開院へ③

シリーズ「総合診療専門医」③

等潤病院で診療情報閲覧スタート③

日立が医療経済評価ソリューション④

病院新聞

発行所 病院新聞社
東京都千代田区平河町2-4-1
日本郵便番号102-0050
TEL 03-5265-2937
FAX 03-3265-2937
<http://www.byoinshinbun.com>